

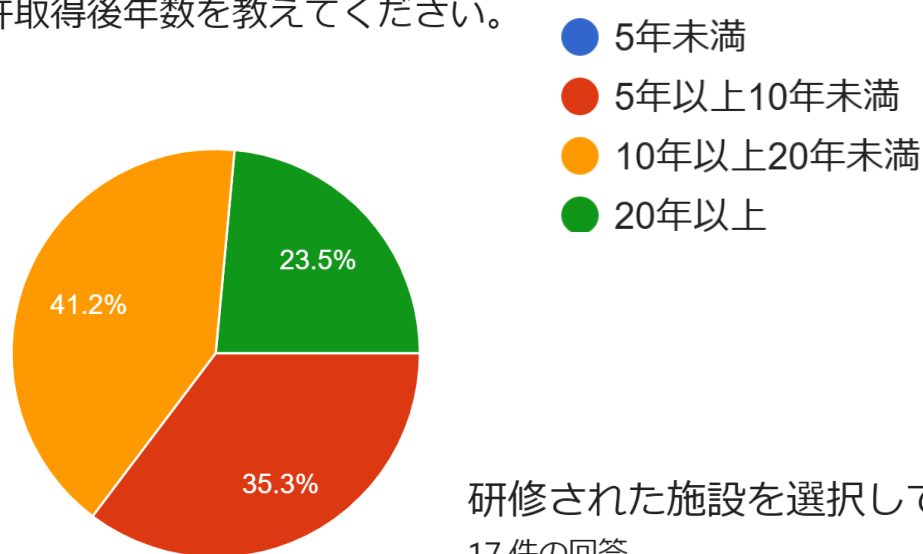
漢方医学教育短期実地研修 研修後 アンケート結果

【対象】2020年度～2023年度までの受講生28名（34件）＊複数回の受講生あり

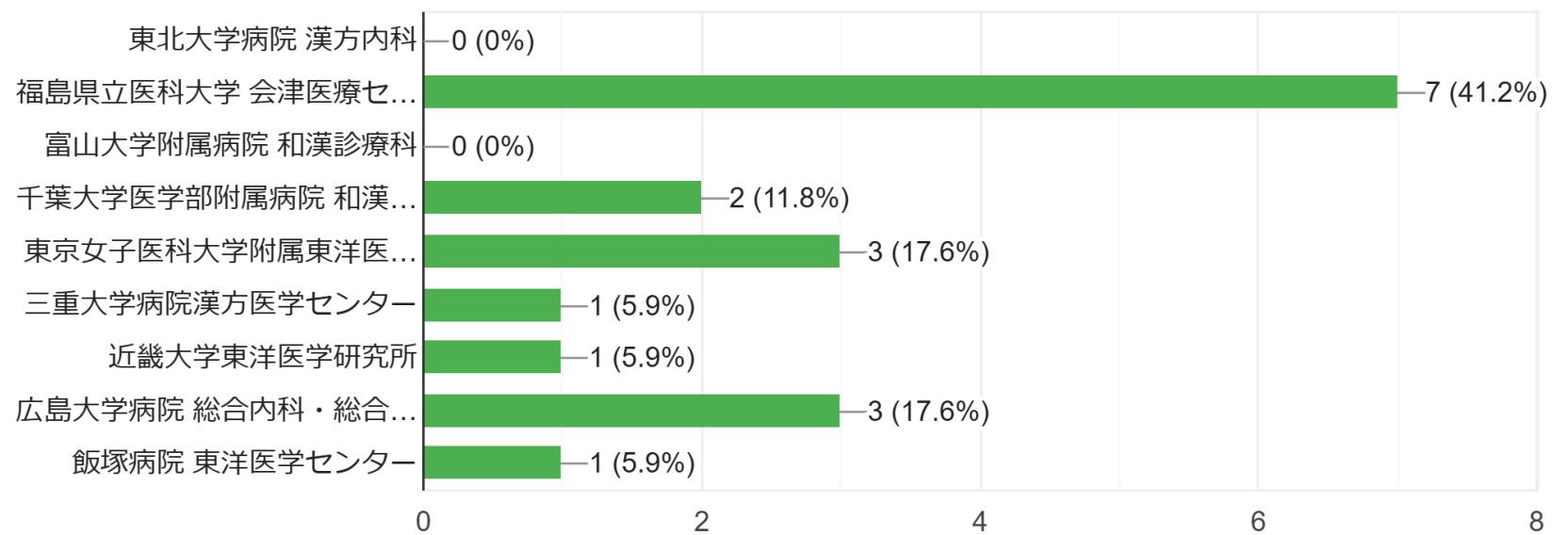
【方法】Googleフォームを用いて、2024年12月に実施した。

【結果】17名が回答（回答率59%）

研修時の医師免許取得後年数を教えてください。
17件の回答

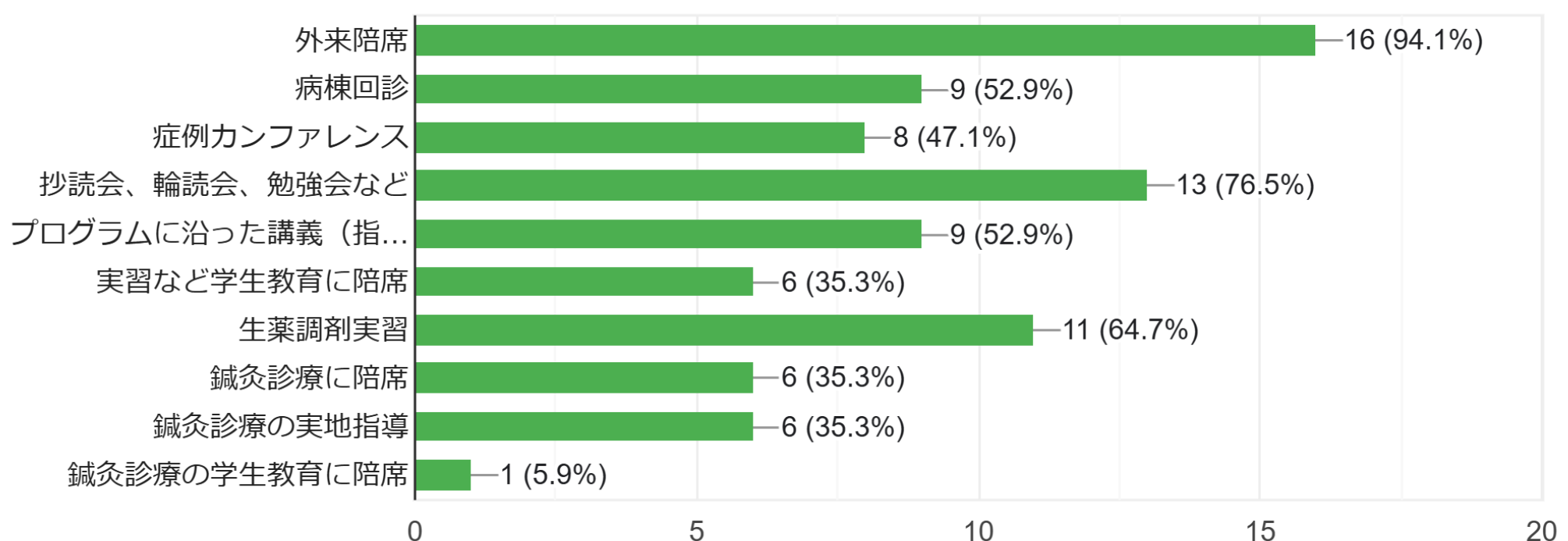


研修された施設を選択してください。【複数回答可】
17件の回答



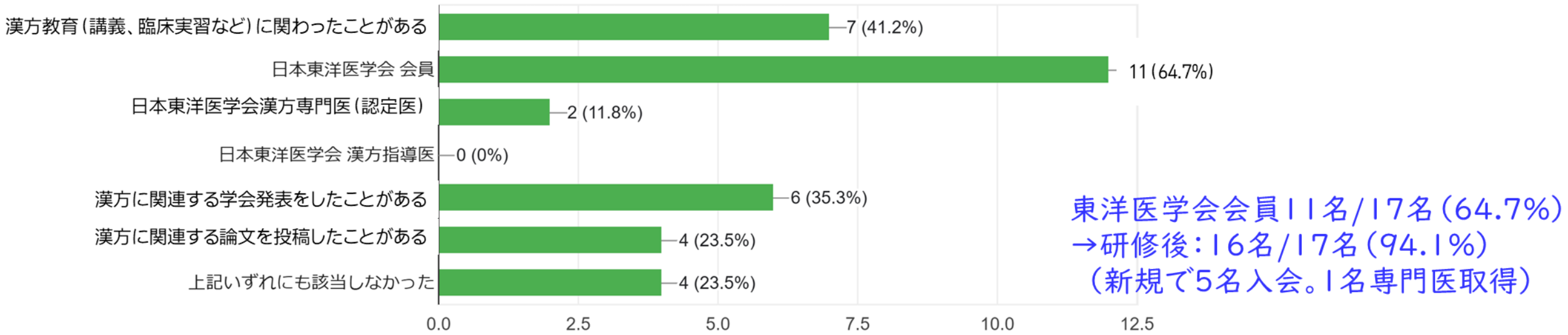
研修施設にてどのような研修を受けられましたか？【複数回答可】

17件の回答



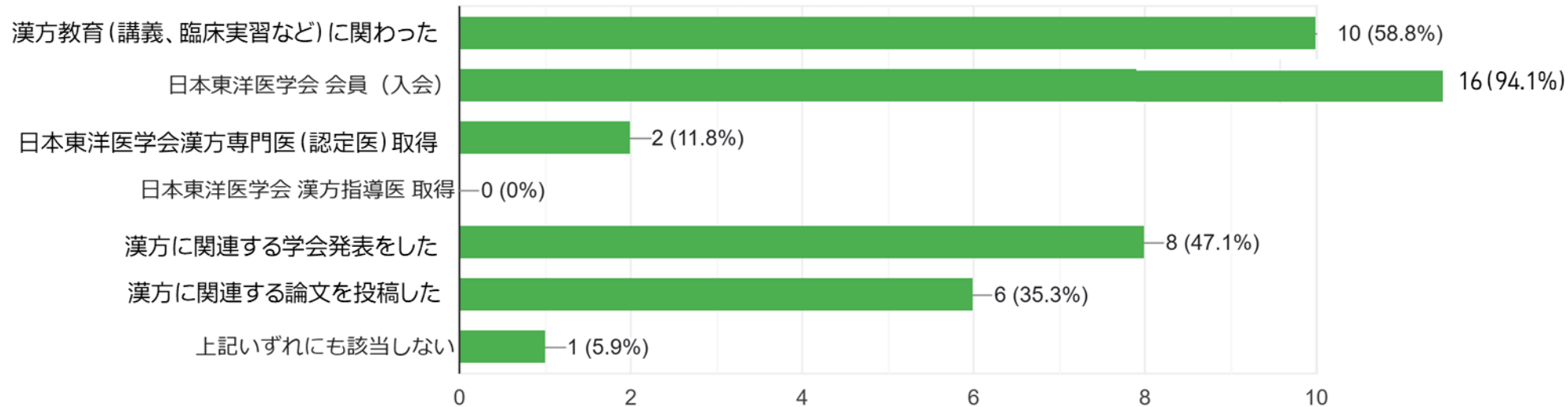
研修当時に以下のどれかに該当しましたか？【複数回答可】

17件の回答



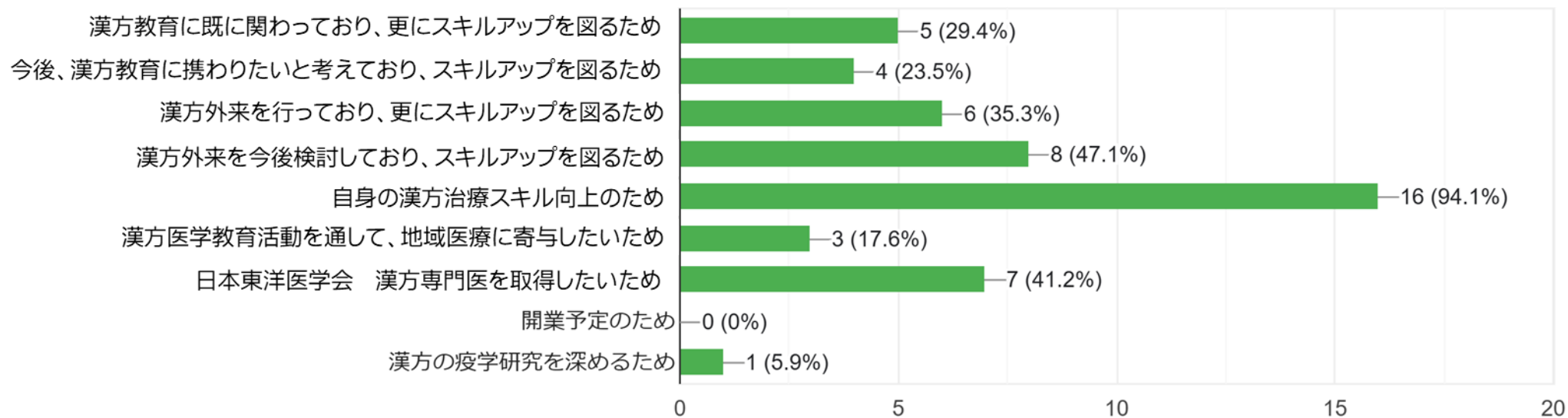
研修後(アンケート回答時まで)に以下のどれかに該当しますか？【複数回答可】

17件の回答



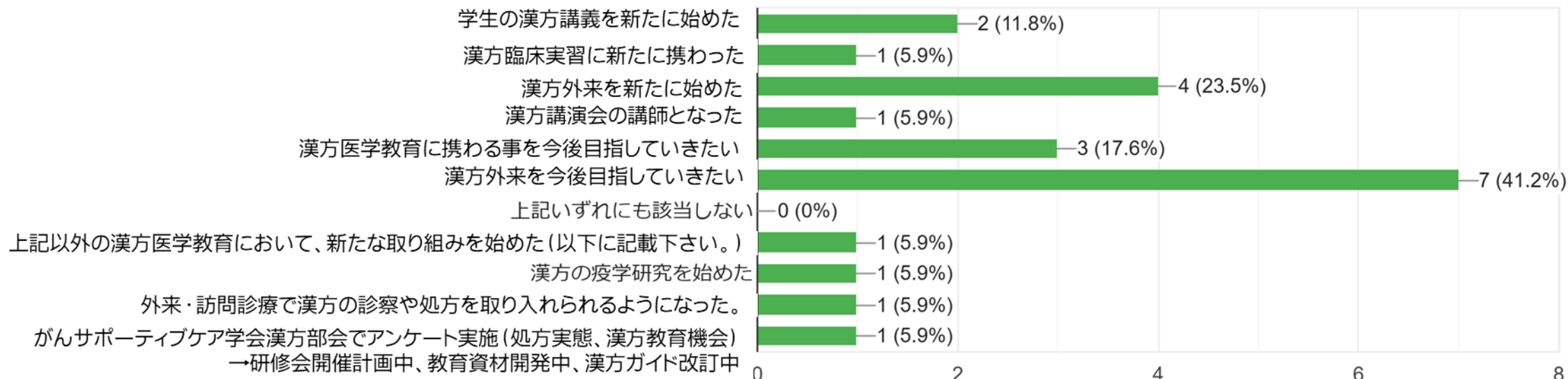
研修当時の目的について以下のどれかに該当しましたか？【複数回答可】

17件の回答



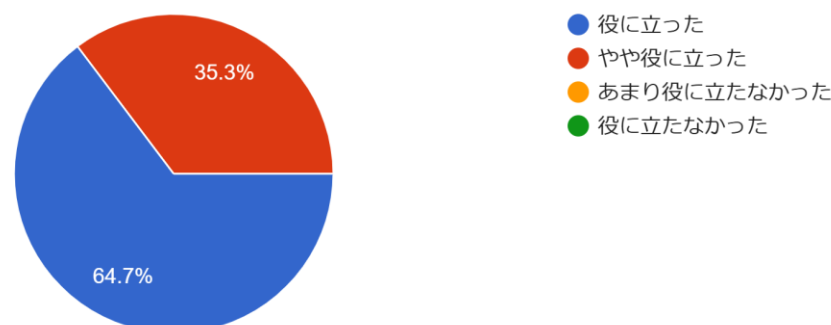
研修後(アンケート回答時まで)に新たに実施あるいは変化したことがありますか？【複数回答可】

17件の回答



卒前あるいは卒後の漢方医学教育を進めていくうえで、研修は役に立ちましたか？

17件の回答



どのような点が「役に立った」あるいは「役に立たなかった」か教育方法や内容、その他できるだけ具体的に記述してください。（*また、複数施設で研修された方で内容が異なるときはそれぞれ記述してください。）

17件の回答

漢方診療の基礎を学べた。

この研修によって、毎回研究の立ち位置を確認することができている。

座学では学べなかった切診や処方運用の実際について大いに学べた

系統的な講義のほか、外来陪席をさせていただき、これまで「診断→処方」であった流れが、「診察→証の決定→鑑別処方」へと変化した。患者様にもより効果のある処方をする事ができ、喜んでいただける機会が増えた。また、使用する方剤の種類も増えた。

漢方の概念をシステムチックに学ぶことができました。

腹部診察の実際

系統だった漢方医学の知識と技術の習得

結果的にお世話になる施設の雰囲気を知る決め手となった。

漢方初心者として一から基礎理論ならびに実臨床を学んだ経験そのものが、教育する側になる時の参考になると考える。
また、たまたま他院で作成中の教育プログラムの試験的受験者となる機会があったことも参考になった。

漢方外来での診察内容を学習できたこと

多様な症例への処方の決め方、診察所見の取り方を実地で学べた

外来陪席での診察方法、処方の運用

生薬の処方調整、漢方処方の効果判定について勉強になりました

研修中学部講義も聴講し、自身の学生時に学んだ内容、現在臨床医としての経験をあわせて、後進の教育に対してどのような取り組みをすると良いかなどを考えるきっかけになりました。

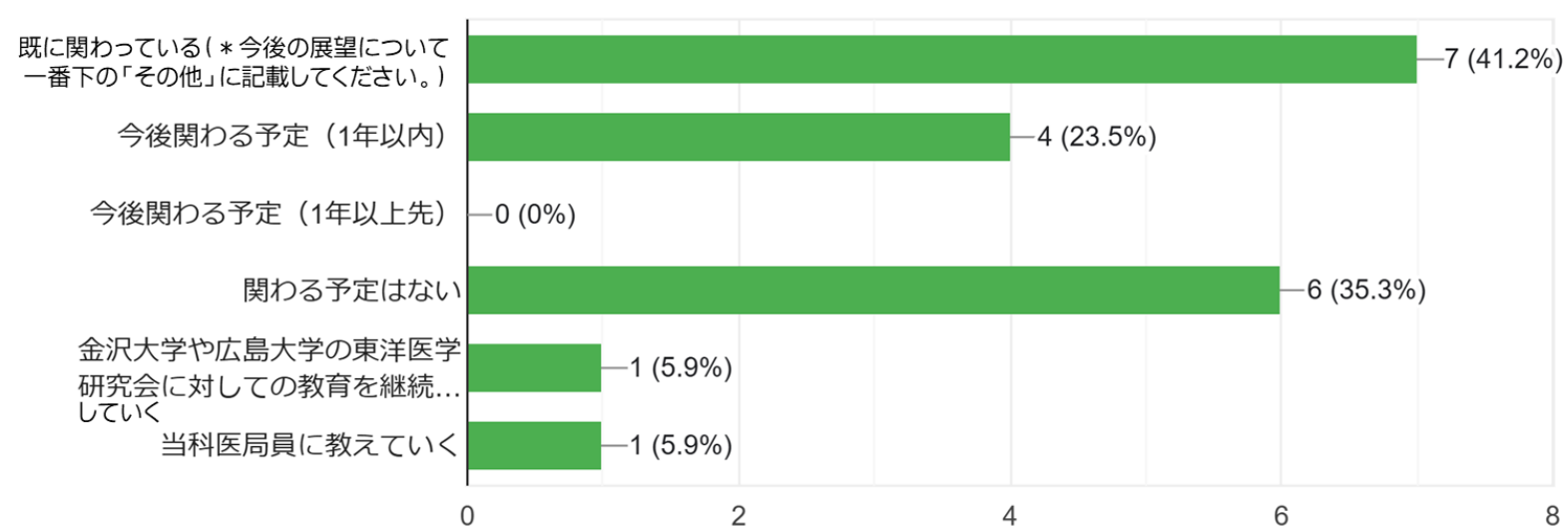
基本的な漢方医学的な理論や診察方法を教えられるようになった

中医学の視点での漢方の使い方は有益であったが、多くの医師は漢方を使い慣れてないので、日本漢方の視点で漢方に慣れた方が入門には良いように思います。

各先生の診療スタイルが参考になった

今後、漢方医学教育に関わっていく予定はありますか。

17件の回答



その他ご意見等は、ご自由にこちらへお書きください。

臨床である程度困ることなく治療を進めるためには臨床研修病院での陪席の必要があると強く思った。